

9月定例会の審議結果をお知らせします

審議された議案		結果
決算	平成30年度平田村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成9・反対2)
	平成30年度平田村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成30年度平田村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成30年度平田村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成30年度平田村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	平成30年度平田村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成10・反対1)
予算	令和元年度平田村一般会計補正予算（第2号） 予算総額 46億8332万4000円（歳入歳出予算それぞれ 9621万9000円を増額） 主な内容 （歳入） こども子育て支援事業補助金 528万円 前年度繰越金 1億3344万3000円 （歳出） 財政調整基金積立金 7000万円 村道の維持補修工事・維持補修原材料費等 1090万円	原案可決
	令和元年度平田村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 予算総額 9億2974万3000円（歳入歳出予算それぞれ 329万5000円を増額）	原案可決
	令和元年度平田村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） 予算総額 2億2001万6000円（歳入歳出それぞれ 51万6000円を増額）	原案可決
	令和元年度平田村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） 予算総額 1億2332万6000円（歳入歳出それぞれ 31万4000円を増額）	原案可決
	令和元年度平田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 予算総額 5294万9000円（歳入歳出それぞれ 26万6000円を増額）	原案可決
	令和元年度平田村介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 予算総額 5億9105万2000円（歳入歳出予算それぞれ 1164万2000円を増額） （歳入） 前年度繰越金 883万5000円を増額 （歳出） 過年度分精算による国県負担金返還金 426万6000円、介護給付費準備基金積立金 229万3000円を増額	原案可決
条例	平田村簡易水道事業給水条例の一部改正 ※消費税増税及び地方消費税の税率が引き上げられることにともなう改正	原案可決 (賛成9・反対2)
	平田村農業集落排水処理施設条例の一部改正 ※消費税増税及び地方消費税の税率が引き上げられることにともなう改正	原案可決 (賛成9・反対2)

9月臨時会の審議結果をお知らせします

9月27日に令和元年第1回臨時会が開催されました。

審議された議案		結果
契約	契約内容 （仮称）平田村こども園建築工事	原案可決
	契約の相手 八光・村越特定建設工事共同企業体	
	代表者 八光建設株式会社 代表取締役 宗像 剛	
	契約金額 7億9498万8000円（うち消費税 5888万8000円）	
	工 期 令和2年9月2日まで	

9月定例会 一般質問

村政を問う



上遠野廣一 議員

◎ 広域農道の安全対策をすべき

広域農道と村道深谷大柿線が交わる石ノ川地内の交差点は、大変見通しが悪い。来年秋にはこども園が開園し、交通量も多くなると予想される。死亡事故で犠牲者が出ないよう対処すべきと考える。
山林を一部買収し、伐採や土砂の撤去をするなど安全対策をすべきではないか。

A 予算を確保し

安全対策に取り組みたい

▽地域整備課長

平成24年度に現地調査を実施した。村道深谷大柿線の法線を変更した縦断勾配の解消が必要となる。これまでに、カーブミラーや看板の設置、路面に「止まれ」のカラー塗装など、関係機関と協力し安全対策を講じてきた。今後とも、必要な予算を確保し安全対策に取り組んでいきたい。

広域農道では、平成25年4月に西山字真弓地内で交通死亡事故が発生している。一時停止の予告看板や自発光式の「止まれ」看板などを設置し、安全対策に取り組んでいる。
しかし、道路交通環境の改善だけでは防ぐことができない事故もある。一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーを心掛けてほしい。

5人の議員が登壇しました 一般質問とは……

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。
また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。



広域農道石ノ川地内の交差点



吉田 好之 議員

Q 村道1252号線(東山地区) 今後の工事計画は

平成17年度に工事発注・着手され、現在までに6回の工事が行われてきた。しかし、平成29年度以降、未改良のままである。

- ① 未改良区間はどれくらいか。
- ② 今後の計画はあるのか。
- ③ 地元関係者への説明はどのようになっているのか。

A 整備計画路線に

位置付けている

▽地域整備課長

- ① 約600メートルのうち、舗装工事が約180メートル、一部暫定施行区間が約300メートル。未着手区間は120メートル。
- ② 整備計画路線として工事を実施する予定。
- ③ 年度当初に、予算状況や重点事業として区長会等に説明している。



高橋 七重 議員

Q 「聴こえ」を支援し 健康長寿の推進を

難聴になると孤立しやすく、人と会う機会が減ってしまう場合が少なくない。最近では、うつや認知症の危険因子になることも指摘されている。

- ① 補聴器は決して安いものではない。加齢性難聴者が補聴器を購入する際の公的支援制度を創設してはどうか。
- ② 国や県に、公的支援制度創設の働きかけをおこなってはどうか。

A 国・県に要望していく

▽健康福祉課長

- ① 聴覚障害と認定され、老人性難聴で重度難聴者の場合、補聴器の購入や修理ができる。身体障害者手帳の取得要件があるが、本人にあった補聴器が低額で購入・修理できる。
- ② 老人性難聴のために家庭や社会から孤立することを予防する上からも、国や県に補聴器購入助成制度の創設を要望していく。

Q 住宅リフォーム 助成制度の創設を

現在創設されている「空き家貸付助成事業」は、空き家を他人に最低5年間、貸すことが前提のリフォーム制度である。

村内の個人事業主、零細・小規模事業所などの仕事起こしと、生活改善を図るため、個人の持ち家をリフォームする際、利用できる助成制度創設の考えはないか。

A 若者定住促進のため検討する

▽総務課長

現在の住宅改修に伴う制度は、介護保険制度による段差解消等の住宅改修への補助と、空き家対策を目的とした空き家改修のための助成である。

若者の定住を促進するため、住宅新築への補助と、住宅リフォームに対する助成について検討していきたい。

村内業者への配慮も検討したい。





現在の村道1252号線(東山字石田)の様子

再Q いち早く調査のうえ、工事着工をお願いしたい。

再A ▽村長
限られた予算の中で、利用頻度が高いところから順次整備していく。

本村の聴覚障がい者で補聴器を購入・修理した件数

平成20～30年度 延べ38件（うち老人性難聴 23件）

聴覚障がい者として認定されるには、専門医師の診断書を提出し身体障害者手帳を取得する必要がある。（詳しくは 役場健康福祉課 ☎55-3119 へお問い合わせください。）

補聴器を付ければ完全に難聴を解消するものではない。数回の調節が必要。

また、日本耳鼻咽喉科学会で認定された補聴器相談医がいる病院で、適正に選択して使用するための講習を受けることが大事。

高齢者の難聴の原因に、大音量の音を長時間聞く、不規則な食生活、睡眠不足、高血圧や糖尿病が挙げられている。これらの予防も必要であり、家族や周囲の協力も大事である。



10月16日 議会全員協議会において視察
(西山地内 村道真弓千保線)

台風19号

被害状況確認

10月12日に上陸した台風19号の被害状況を確認しました。

10月15日現在、床上浸水3件、床下浸水3件、村道では通行止めや崩落・路面洗堀等92か所など、各地で甚大な被害をもたらしました。また、農地の法面崩落等を含めると、被害は500件を超えるものと報告を受けました。

被災された皆様にお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興のため、地域の皆様の声を執行側に要望して参ります。



瀬谷 一男 議員

Q スクールバス

利用拡大はいつから

- ① 4キロメートル以上の乗車基準をなくすとのことだが、いつ、どのような方法で実施するのか。
- ② バス通学による体力・筋力の減退の実態と対策についてはどのように考えるのか。

A 冬を迎える前に開始

▽教育課長

- ① 冬を迎える前に利用拡大を開始したい。現在のバス停に来ることができ、希望する全児童・生徒を対象とする。
- ② 体力テストの結果は、通学方法別での比較をしていないので、体力についての傾向は回答できない。しかし、中学校統合前と比較すると、統合後には体力テストの平均値がやや低い傾向にある。スクールバス利用の現状を踏まえ、体力向上の取り組みをしていく。

Q 買収額と不動産鑑定額を

どう考える



三本松和美 議員

中学校造成とジュピアランド駐車場

中学校造成及びジュピアランド駐車場（1工区）の買収価格と不動産鑑定額については、用地取得の不動産鑑定額を超えている。

- ① 中学校造成及びジュピアランド駐車場（1工区）の買収額と不動産鑑定額の差額はいくらか。
- ② ジュピアランド駐車場（2工区）の買収ははじめたのか。
- ③ 中学校造成及びジュピアランド駐車場（1工区）の買収額と不動産鑑定額の差額をどう考えるのか。

A 景気の状態等を踏まえたもの

目的に沿って実施

▽産業課長

- ① 中学校造成について、差額はない。
ジュピアランド駐車場については、鑑定額960円に対し、買収額2千円。差額は1040円。
- ② 2工区の買収は始めている。

Q ゆり園「ユリ」全滅の原因は

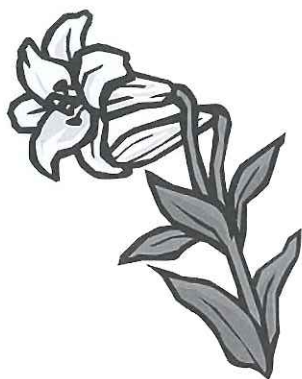
今年は、ゆり園のユリが枯れてしまい、来場者に観てもらったことができなかった残念な結果となった。

- ① 全滅した原因は何か。
- ② 今後の管理をどうするのか。
- ③ 再生するための予算はどれくらい必要か。

A 異常気象による葉枯病

▽産業課長

- ① 異常気象による葉枯病等が原因と考えられる。また、昨年の病害菌が表面や土中に残った可能性、連作障害の恐れも考えられる。
- ② 球根を引き抜き廃棄処分し、表土の入れ替え、土壌消毒を徹底する。また、植栽箇所を変更し、連作障害に備え3年おき程度に交互に観られるよう整備する。
- ③ 植栽箇所の整備、球根の購入、イノシシ対策のための電気牧柵、土壌消毒等、306万円と見ている。



Q 商工業の活性化

現状と今後の支援は

近年、大型店・チェーン店の進出による村内の小売業界は廃業、または後継者不足による廃業への危機感が高まっている。

① 現在、村では村内業者をどのくらい利用しているのか。

② 今後の位置づけ、支援、育成についての考えは。

A 村内業者を優先に対応

補助金を継続していく

▽総務課長

① 村で行う物品等の購入、工事等の発注の際、村内業者を優先に考えて対応している。例えば平成30年度会計の消耗品費では、村内業者で対応できないものもあるので約40パーセントが村内業者となっている。

② 商工業活性化のため、約900万円の補助金を交付している。今後も継続する。

③ 平成29年第3回議会定例会で答弁したとおり、

景気の状態や立地条件、道路交通網整備状況などにに基づき示されたもの。適正に取得した財産であり、地権者が不当利得した事実はない。

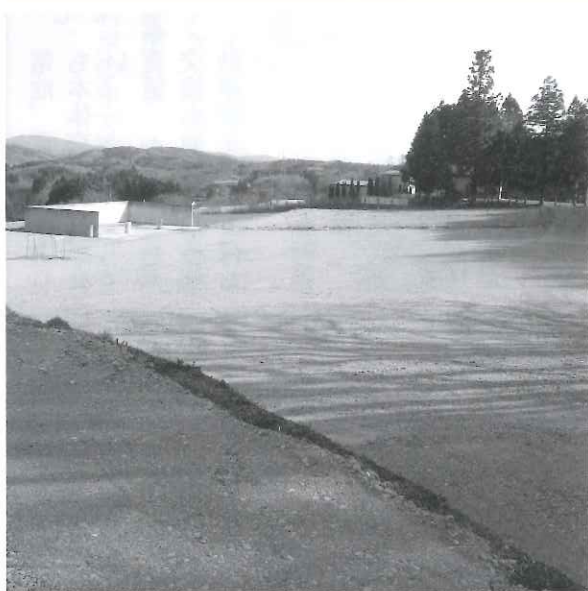
① 今後、2工区の買収を進めることになった場合、同様に賠償する考えか。

② 不動産鑑定額よりも土地を高く買収した場合、賠償責任が生じることになるが、どのように考えるのか。

再 A 再 産業課長

① これまで買収した1工区の価格を基本とする考え。

② 交通渋滞解消対策として、緊急的に駐車場として買収したものである。



ジュピアランド駐車場(1工区)

Q 農産物の価格補償は

今年度は、異常気象による農産物の質の低下や収量の減少により、大幅に価格が下落すると予想される。

① 価格補償の額は、既存の制度でどの程度か。

② これからの農産物の価格補償を、どう考えているのか。

A 差額が補填

有利な制度を推進する

▽産業課長

① 最低基準額(平均価格の6割)を上回る部分について、その差額の原則9割を補填するもので、野菜の品目や事業の種類によって異なる。

② 今年1月から新しい収入保険が導入されたので、生産者自らの経営判断により有利と考える制度を選択できるよう、関係機関と連携し推進したい。

令和元年7月版 福原市役所 福原市役所 福原市役所

農業を営む皆様へ

平成31年1月から全ての農産物を対象に収入減少を補てんする

「収入保険」が始まりました!

農産物で新しい産品の購入、販路拡大などにチャレンジしたいんだけど、様々なリスクがあるんだよねー。

大丈夫、収入保険にまかせてください!

自然災害や鳥獣害などで収量が下がった	市場価格が下がった
災害で作付不能になった	けがや病気などで収量がでない
倉庫が浸水して売り物にならない	取引先が倒産した
盗難や運搬中の事故にあった	輸出したのが為替変動で大損した

収入保険は様々なリスクから農業経営を守ります!!

全国農業共済組合連合会パンフレット